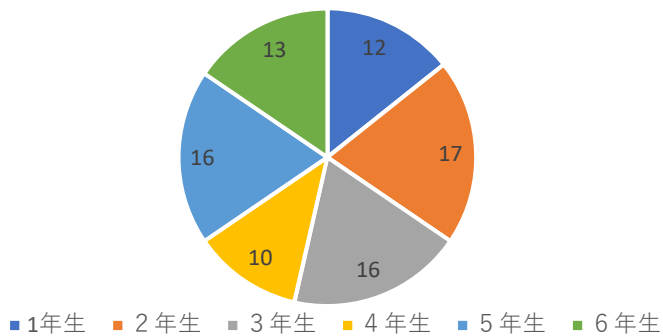


かぞくでチャレンジ！ノーメディア・読書ウィーク（小学生結果）

1. 参加人数（小学生） 84名参加

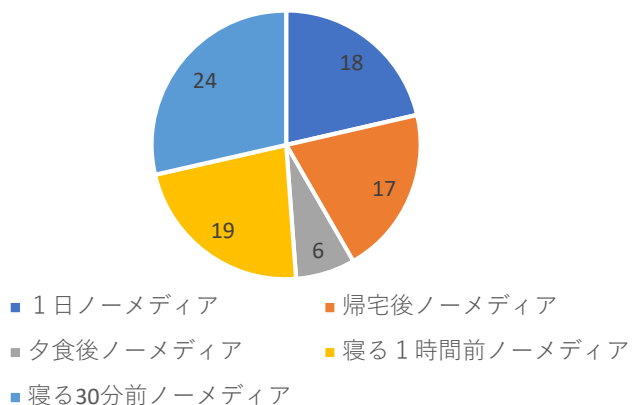
参加者（人数）



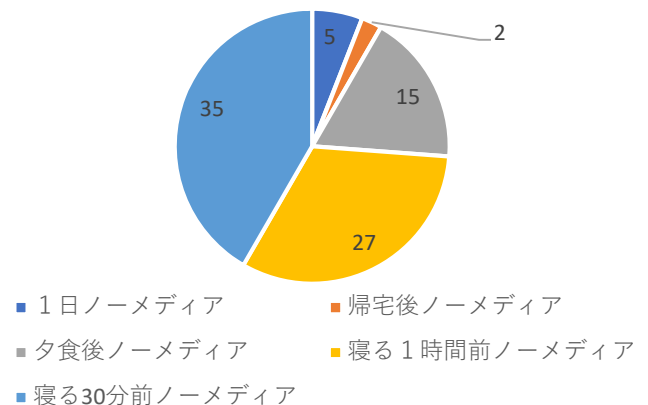
実施期間は、10月23日（月）～11月17日（日）から1週間を選んで読書ウィークとし、その内1日をノーメディアチャレンジを行う。
多可町の小学生84名が参加。

2. ノーメディアのコース

ノーメディアのコースを選ぼう
（児童）



ノーメディアのコースを選ぼう
（家族）

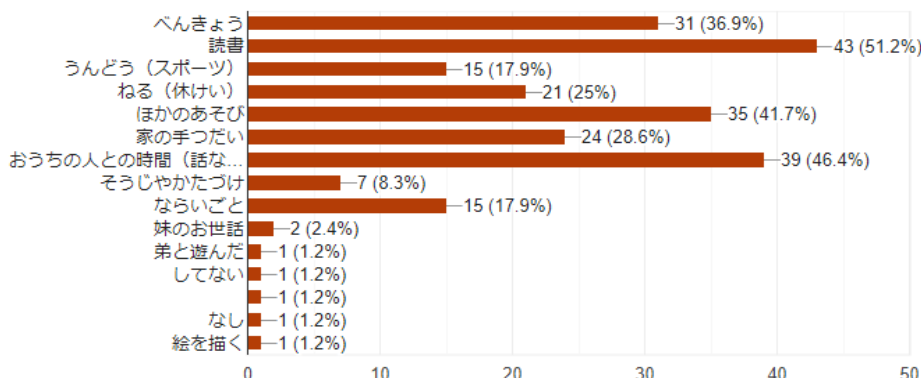


参加児童は、1日、帰宅後、寝る1時間前、寝る30分前からそれぞれメディアを使用しないコースを選択する児童が多かった。家族の方は、手軽にできる30分前と1時間前からメディアを使用しないコースを選択される方を合わせると、7割以上である。

3. ノーメディアの間にしたことは

ふりかえり ノーメディアの間にあなたがしたことは何ですか。（いくつでもえらんでください）

84件の回答



児童がノーメディアの間にしたこととして、読書・家庭の時間、学習、他の遊びに充てている。メディア使用以外にも様々なことをして過ごしていることが分かる。

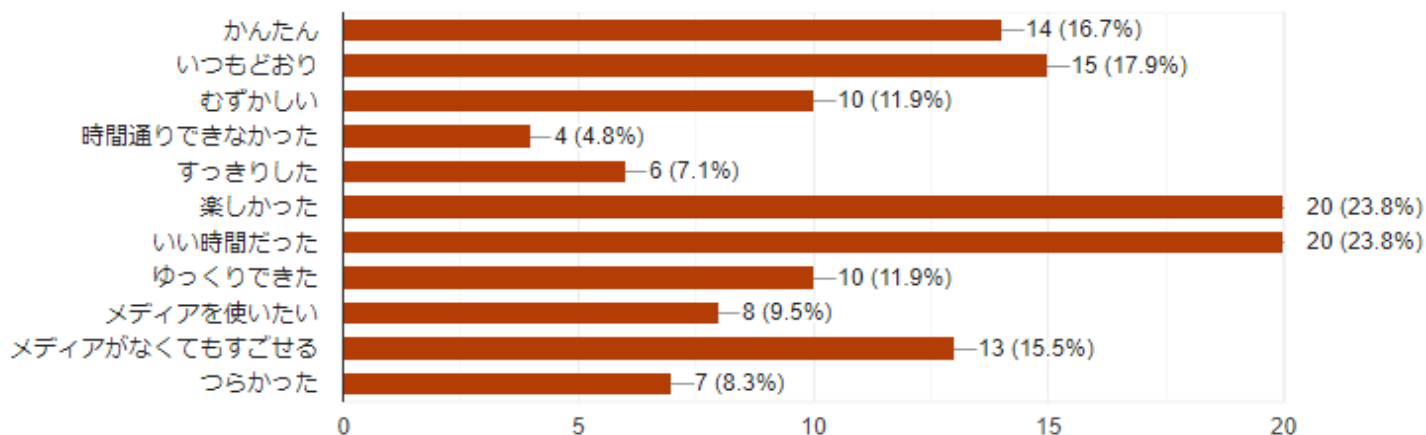
メディアを使用しない時間があることで、様々なことを選択するようである。

4. ノーメディアの感想

やってみて合うものを選ぼう。（あなた）

コピー

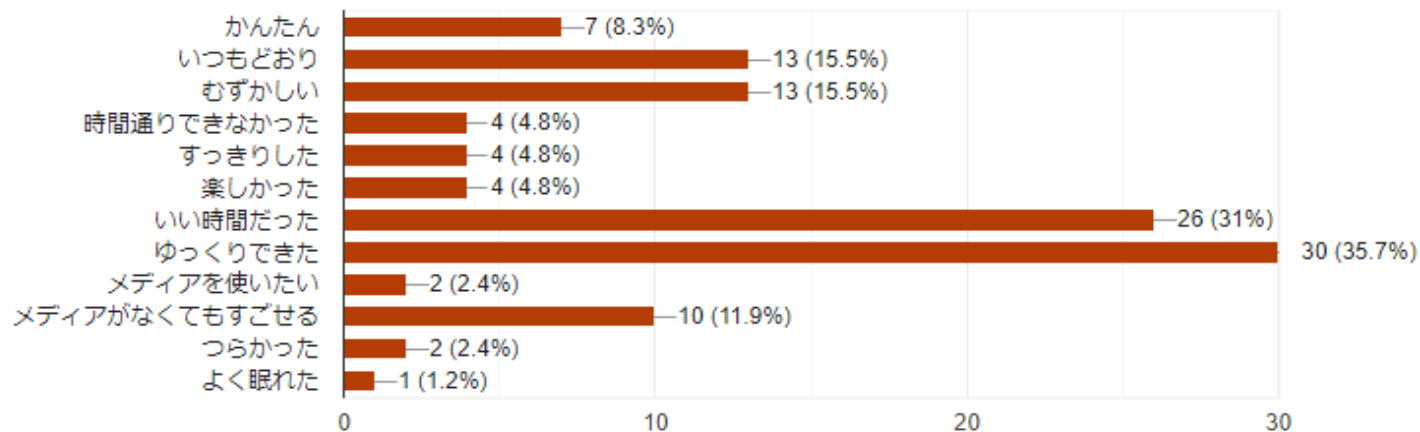
84 件の回答



やってみて合うものを選ぼう。（ご家族）

コピー

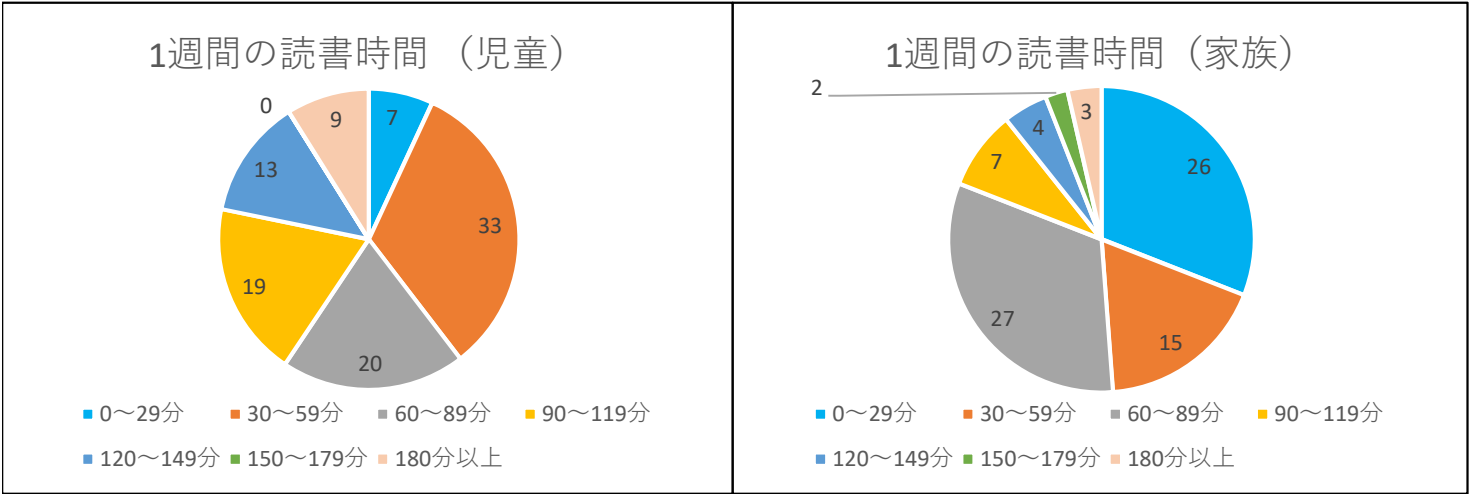
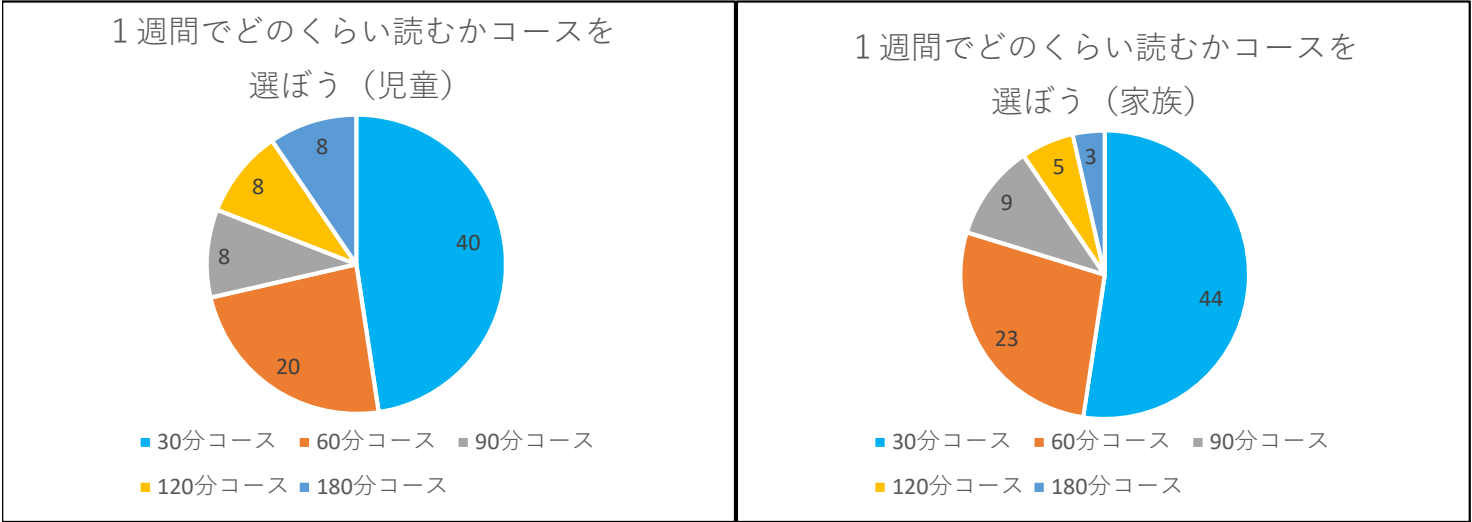
84 件の回答



普段使用している電子メディアを意識して使用しないことに対し、子ども達の中にはつらい、難しいと感じる人が数名いる。メディアを使用することが良くも悪くも当たり前になっている。メディアの使用には、慣れる必要もあるが、メディアがなくても自分でやりたいことを見つけたり、過ごせる時間を持つことが必要に感じる。メディアと離れることで、自分の時間を持てた子ども達もあり、有意義な時間が過ごせたようである。保護者についても、メディアの使用をやめるのが難しい方もある。メディア使用を控えることで、心を落ち着けるよい機会となったと感じていることも読み取れた。

子ども達は、小さいときから、メディアがあるのが当たり前の世代となっている。そのため、大人が子どもと一緒にメディアの使用について考えたり、子どもが納得してルール作りをするなど、メディアを楽しく使うとともに、メディアを使用する以外の時間も大切に感じられるようにできればと思う。

5. 1 週間の読書時間コース選択と 1 週間で読んだ時間

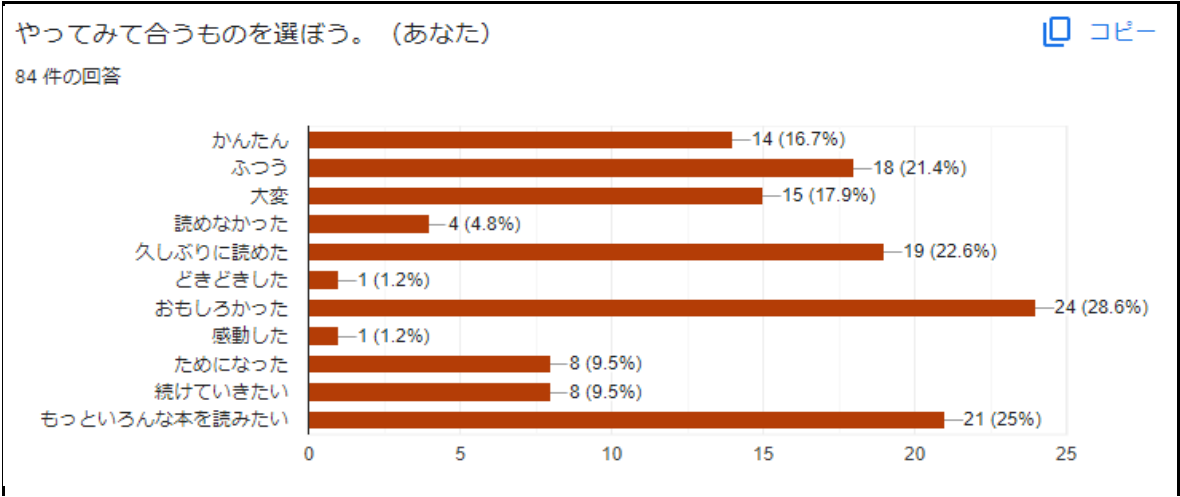


コース選択の際は、30分コースが児童・家族ともに半数程度と多かった。

結果は、子どもは、4割程度が30分以上読めている。60分以上読めている人が6割程度ある。保護者については、30分までの方が4割程度あり、60分以上読めている方が、5割以上ある。

読んでみると思ったよりも読めた人が児童も家族もとても多いことが読み取れる。コース選択をした時間よりも本の世界に浸ることができたようである。

6. 読書アンケート感想

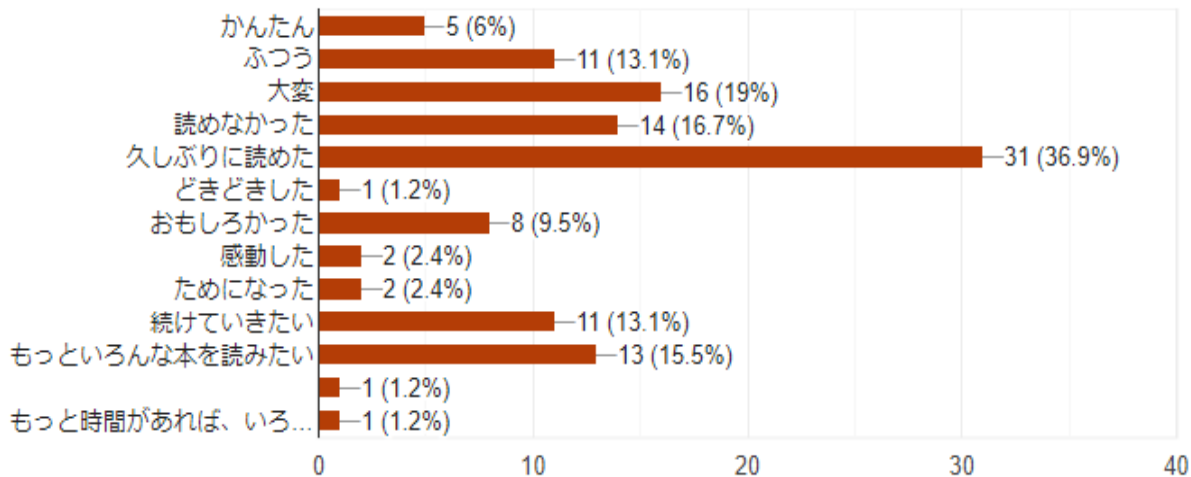


読書をするに対する難易度は、「普通」、「大変」、「簡単」の順に多かった。読書を始めると、おもしろいと感じたり、他にも本を読みたいと興味を持てるので、普段から読書をする時間を意識してとることが必要であると感じる。脳を総動員して本を読むので、大変であると思うが、少しずつ慣らしていき、読書を楽しめるようになってほしいと感じる。

やってみて合うものを選ぼう。（ご家族）



84 件の回答



その他感想

・もっと時間があれば、いろんな本を読みたい

多くの保護者の方が児童も同様に、本を久しぶりに読めたと感じられている。本を読む難易度が大変だと感じられている。もっと時間があれば、いろんな本を読みたいという方がるように、時間をとるのが大変な方もあるかと思う。読み始めると本の内容に引き込まれるので、機会をとらえて、子どもと一緒に楽しく読書をしてほしいと思う。